

学校教育目標

ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成

目指す学校像

- ◎子どもの元気と笑顔、活力を地域に届ける学校
(矢立笑学校)
- ◎地域と学校が連携・協働で子どもを育てる学校

目指す子ども像

矢立杉林のように 大地にしっかりと根を張り合い それぞれが大空に向かって たくましく伸びる子ども

目指すふるさとキャリア教育

- 矢立の人・もの・こととの関わりを広げて
- ◇郷土愛 ◇主体性 ◇自立心 ◇発信力

目指す授業

- ◇子どもが試行錯誤し、根拠を明らかにして学ぶ授業(理解の深化)
- ◇子ども同士が助け合い、励まし合い、高め合う授業(学び合いの充実)
- ◇自らの努力や成果を自覚できる授業(自己肯定感と自信の向上)
- ◇一人一人の確かな見取りと適切な指導・支援のある授業(教師のコーディネート)

重点事項

- 1 基礎・基本の定着と説明する力の育成
- 2 効果的な2複式の学校運営
- 3 児童が主体となるPJ(プロジェクト)や活動
- 4 幼保・小中、地域施設等との連携

いつでもどこでも一人でも!

「なぜだろう?」不思議発見
ハテナ解決

自分のためにもみんなのために!

【矢立っ子の合言葉】



【4月 4名の新生を迎えての入学式】



【5月 自分の力を出し切った運動会】



【6月 好天に恵まれた6年修学旅行 函館】



【7月 4・5年自然教室 川遊び】

ア
児童の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

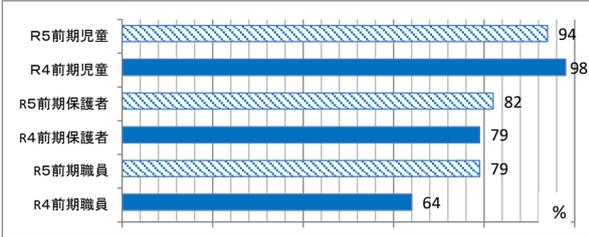
I 自主的・自律的な生活

児童生徒の状況		自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント
よりよく生活し安全に過ごす意欲と能力を高めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	個人差があることは理解しているが、明るい挨拶に物足りなさを感じる。元気がよく、明るく、はっきりした挨拶になるよう目指す学校像(矢立実学校)への取組を継続してほしい。規則正しい生活と安全について、学校も保護者も「やりなさい、ダメ」だけでなく、なぜ規則やルールを守らないといけないのか、子どもたちに理解させる取組に努めてほしい。役割・責任については、保護者の満足度が低いのが、年齢(学年)でできるレベルが違うため、学年でアンケートの設問内容を変える等し、広く子どもたちの頑張り認められるとよい。
	年度			
学 自 校 の 評 改 価 善 の 策 概 要 と	【前期(一年度)】	挨拶は、全体的によくできているが、個人差もある。児童主体のあいさつ運動などの取組を継続しながら、元気に進んで挨拶することを意識させていきたい。規則正しい生活については、メディアとの関わりが大きく影響していると感じている。保護者との連携を図りながら、チェックカードの活用や児童会からの呼びかけにより、規則正しい生活ができるようにしたい。また、休日や長期休みの過ごし方については特に声かけをしていきたい。安全面では全体的に評価が高いが、命に関わることでもあるので、正しい行動がとれるように継続して指導していく。		
	【年度(一次年度)】			

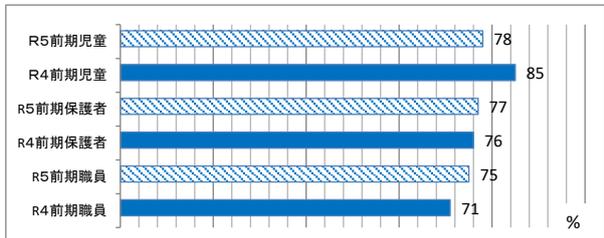
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1) 明るい挨拶	・挨拶について考える場の設定 ・挨拶運動	3	
	(2) 規則正しい生活	・家庭との連携(早寝、早起き、朝ご飯) ・始まるの時間を意識した学校生活		
2 集団生活・集団活動	(3) 自分の役割に責任をもつ態度の育成	・自ら進んで取り組む活動 ・家族の一員としての自覚	3	
3 安全に過ごすための行動	(4) 安全教育の充実	・飛び出し防止の指導 ・交通安全教室 ・判断力を高める避難訓練	4	

【1に関するデータ】

(1) 明るい挨拶



(2) 規則正しい生活



昨年度と比較すると、児童の数値が下がっているが、保護者と教職員の数値は上がっている。挨拶について、保護者と児童の差は縮まったが、「もう少し」と思われる部分がある。民生児童委員と語る会では、地域での明るい挨拶ができているというお話があった。学校では、児童が主体となったプロジェクト委員会の呼びかけやあいさつ運動を実施し、挨拶をレベルアップしようとしている。挨拶の意義、必要性を子どもたちと共有しながら元気で明るい挨拶ができるように働きかけていきたい。規則正しい生活については、早寝・早起き、メディア使用が休日でもしっかりできるように指導していきたい。その際、合言葉「いつでもどこでも一人でも」が自主的・自律的な生活につながることを伝えていきたい。

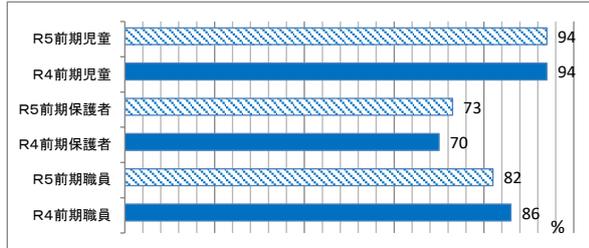


【御膳水集会
あいさつ名人(プロジェクト委員会)】

【あいさつ運動(プロジェクト委員会)】

【2に関するデータ】

(3) 自分の役割に責任をもつ態度



保護者アンケート記述より
・言わないとやりません。
・手伝いをお願いするとはりきってやってくれます。自分のことを自分でできるように頑張らせたいです。

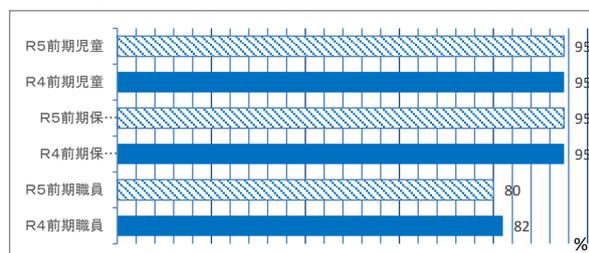
保護者の数値は上がったが、教職員の数値は下がった。児童は当番や係、委員会活動などが充実していると捉えている。学校のみならず、「自分から進んで」をお家でも地域でも頑張ろうとすることを2学期に頑張してほしいこととして話した。



【高学年が1年生に
掃除の仕方を指導】

【3に関するデータ】

(4) 安全教育の充実



安全面では、全体的により傾向である。低学年で飛び出しや安全な過ごし方が不十分と回答する児童がいた。PTA校外指導部によるペンキ塗りで横断歩道が目立つようになった。命に関わることなので、正しい行動が取れるように繰り返し指導していきたい。



【左:交通安全教室】

【右:PTAによる横断歩道ペンキ塗り】

ア 児童の状況

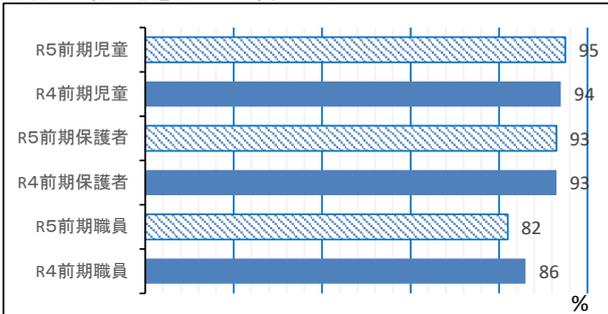
II 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況	自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント	
互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	新型コロナウイルスが5類に移行、行事や学校生活の制限が少なくなってきたことから児童のポイントがアップしたのだと思う。高い達成感、先生方の環境づくりの賜物、感謝している。自己有用感についても同じ高いポイントで、褒められたり、認められたりする機会を上手につけている成果だと思う。よい面を見つけて伸ばすことを続けてほしい。諸問題をゼロにすることは難しいが、未然防止に努めてほしい。
	年度			
校 自 己 改 善 策 の 概 要 と 学	【前期(→年度)】 自己有用感、自分で気付くだけでなく、他人から感謝されたり認められたりすることで育まれることも多い。これからも、帰りの会や振り返りの時間などを通して、互いのよさを認め合える場を増やしていく。このことが、達成感を味わえる活動にもつながっていくと考える。また、学校行事や様々な活動を通して達成感を感じることができているので、今後もそのような機会を生かしながら一人一人のよさを発揮できる場を設定していきたい。いじめについては、未然防止と起こってしまったときの対応を大切に、いじめゼロを目指すとともに隠したりうやむやにしたりすることがないようにする。			
	【年度(→次年度)】			

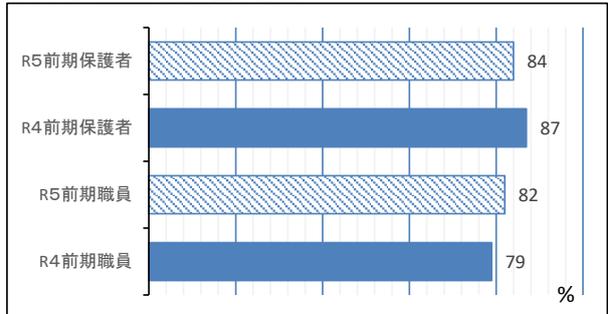
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 共感し合う心	(5) 自己有用感をはぐむ集団づくり (6) いじめ、諸問題発生防止	・互いを認め合う学級づくり ・縦割り活動の充実 ・学び合いを大切に授業 ・早期発見の体制づくり ・いじめアンケート ・教育相談の充実 ・家庭との連携	3	
5 一人一人のよさの発揮	(7) 達成感を味わえる活動	・運動会、学習発表会、ふれあい集会などの学校行事 ・自分のよさに気付く場の設定	4	

【4に関するデータ】

(5) 自己有用感をはぐむ集団づくり



(6) いじめ、諸問題発生防止



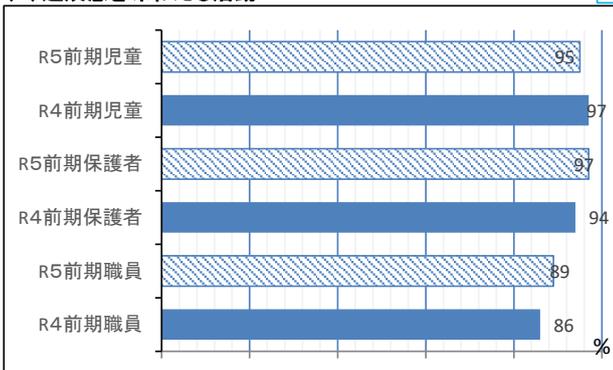
保護者アンケートの記述より

「友だちとこんなことしてるよ。」とよく話してくれます。一輪車で、みんなで声をかけあって一緒に乗れるようになったと嬉しそうに話していて、仲良く過ごせているなど安心していきます。

児童アンケート「友だちのよさやがんばりを見つけることができた」は95Pと高い数値になっており、「自分にはよいところがある」は昨年度より6P上がっている。その中でも、「あてはまる」と回答した児童が57%から69%に増えた。学校だけでなく、家庭、地域でも子どもたちのよさをほめたり、認め合ったりしていることが理由の1つだと考えられる。いじめ、諸問題の発生については、保護者の数値が若干下がった。起こった場合は、すぐにそれぞれから事情を聞いて、お互い納得するよう解決を図っている。子ども同士のトラブル、いじめがないよう未然防止に努めていきたい。

【5に関するデータ】

(7) 達成感を味わえる活動



保護者アンケートの記述より

・運動会では、一人一人がたくさん活躍していて、矢立っ子の頑張りがすごいなと感動しました。



【左: クリーンアップ 右: 親子レクリエーション】

児童、保護者とも高い数値となっている。今後も、一人一人が達成感や充実感をもてるような教育活動を継続していきたい。また、失敗やうまくいかないことがあっても頑張れる環境づくりに努めたい。

ア 児童の状況

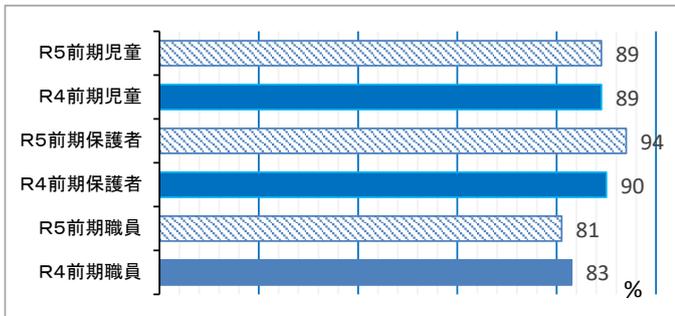
Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら学習内容を定着させている。	前期	おおむね良好	今年度の重点事項に則り、基礎・基本の定着に重きを置く繰り返しの指導が浸透している。学力調査などでも結果が出ているとのことなので、継続してほしい。家庭学習(宿題)においては、慣れからくる注意力の低下が見受けられるという意見があるので、繰り返しに加えて内容に変化を加える等検討していただきたい。先生方の自己評価が低いのは、意識の高さで取り組み途中であるからと理解している。
	年度		
と自己評価の改の善概要	【前期(→年度)】 概ね学習習慣は身に付いていると言える。個々に見ると忘れ物などが多い児童もいるが、個別に声をかけている。今年度は、基礎・基本の定着と、根拠をもとに説明する力の育成を重点に掲げている。自分の考えをしっかりとって問題解決に向かい、学び合いが充実するようにしたい。そのためには、学校の学習だけでなく家庭学習の充実も不可欠である。学校での学びが着実に身に付くように授業改善を図り、家庭学習の内容を見取りながら支援していく。		
	【年度(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 基本的学習習慣	(8) 基本的学習習慣の確立	・矢立っ子「学習の約束」・ノート指導 ・家庭学習の習慣化 ・各教科における言語活動 ・表現する場の設定 ・ドリル等を活用した反復練習	3	
6 学力向上	(9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・少人数の特性を生かした基礎・基本の定着 ・児童主体の授業改善 ・教師の確かな見届けと指導、支援 ・根拠を明らかにして説明する場の設定 ・児童主体の授業改善 ・学び合いのスタイルの工夫	3	

【5に関するデータ】

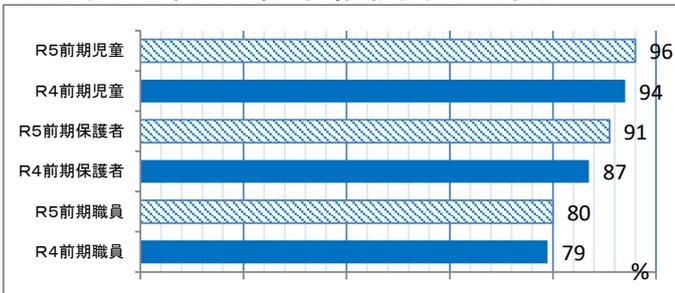
(8) 基本的学習習慣の確立



保護者の数値が昨年度より上がった。ほとんどの児童が家庭学習を毎日きちんと行っていることが伺える。あまりできていないという児童がいたが、個別に対応していく。児童や保護者の数値に対して、職員の数値が低いのは先生方の意識の高さだと思われる。もう少し頑張れば、もっとできると感じている。鉛筆の持ち方や姿勢が気になる児童がいるので、声かけをしていきたい。

【6に関するデータ】

(9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成



児童・保護者・職員とも数値が上がっており、全体的によい傾向にある。1学期、外部から授業の様子を見ていただく機会が何度かあったが、たくさん褒められた。今後も研修を続け、大館市が推進している「共感的・協働的な学び合い(響学)を通して、一人一人が自らの考えを創造し、学びを深める児童」の育成を目指していきたい。

< 指定訪問研究会、東北6県市町村教育委員会連合会研修会公開授業、北教育事務所長訪問の様子から >



【1・2年 算数】



【3年 算数】



【4・5年 算数】



【6年 算数】

ア 児童の状況

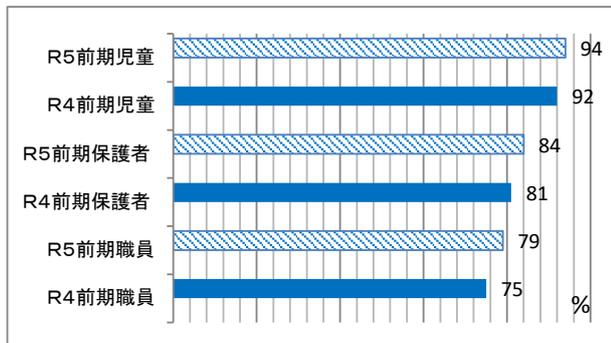
IV 健康と体力

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント	
児童一人一人に運動の機会を多く与え、家庭と連携して健康な生活習慣の形成に努めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	今夏の異常な暑さから、屋外・プール・体育館での運動を制限されることもあった中、教室等(エアコン有)でやれることをするなど工夫した取組がよかつたし、嬉しく思う。メディアの長時間使用は最も気を付けるべきこと。規則正しい生活と同様に保護者と協力し、なぜ規則やルールを守らないといけないのか、子どもたちに理解させる取組に努めてほしい。
	年度			
自己評価の改善策と	【前期(→年度)】 健康的な生活習慣の形成が、児童の健全育成の土台となると考えて取り組んでいる。(10)のデータは上昇傾向にあるが、休日の過ごし方に課題がある。メディア依存による悪影響が低年齢化してきており、児童・保護者どちらにも継続的な指導が必要である。週1回のマラソントイムでは、目標をもって頑張る姿が見られた。運動が苦手な児童も、楽しく運動できるような工夫をしていきたい。			
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 保健指導	(10)健康的な生活習慣の形成	・早寝、早起き、朝ご飯、メディア等One Oneカードの取組 ・給食、歯磨き指導	3	
9 体力の向上	(11)体力づくり活動の充実	・業間運動の推進 ・外遊びの奨励 ・徒歩通学の推奨	3	

【8に関するデータ】

(10)健康的な生活習慣の形成、歯みがき指導



児童・保護者・職員とも数値が上がった。「親子歯みがきカード」や「ONEONEチャレンジカード」、夏休みの「歯みがきカレンダー」など家庭の協力を得ながら進めている。保護者から休みの日にうまくできていないという回答があった。メディア使用も含め、Iの自主的・自律的な生活と関連しており、規則正しい生活が歯みがきや健康につながっている。生活リズムの重要性について根気強く呼びかけ、働きかけていきたい。

保護者アンケートの記述より
・休みの日の歯磨きはうまく行えていません。(2人)



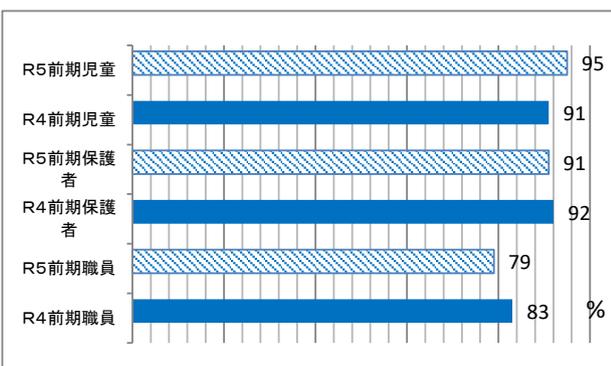
【給食後の歯磨きの様子】



【御膳水集会 メディアの使い方
(ヘルシースポーツ委員会)】

【9に関するデータ】

(11)体力づくり活動の充実



【体カテスト 立ち幅跳び】



【中休み マラソン】

児童の数値は上がっているが、職員の数値が下がっている。中休みには、マラソンや縄跳びを行うことで運動する機会を多くするようにしている。新体カテストの結果は昨年度よりもよくなっている。気温が高い時は、水分補給や短時間での運動など熱中症対策をしっかり行って実施していきたい。

イ 学校運営の状況

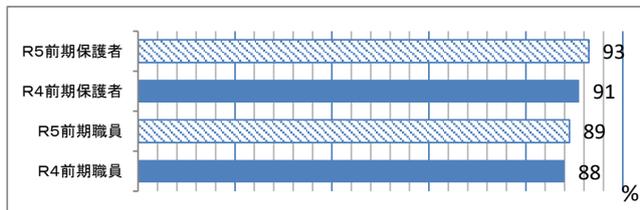
V 組織運営及び保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校に実情に合った経営がなされ、保護者、地域との連携が図られている。	前期	良好	良好	経営方針や重点施策は先生方に浸透し、積極的に取り組まれている。保護者や地域の方々にもPTA全体会や学校報を活用して発信され、連携が図られている。他校との交流も復活し、更に活発になり、子どもたちも喜んでいると保護者から声があった。粕田酒こし舞の継続が嬉しい。今年はきりたんぼまつりでも披露するとのことなので子どもたちの活躍を期待している。
	年度			
学 自 己 の 評 価 の 改 善 策 の 概 要 と	【前期(→年度)】 今年度も保護者や地域の方々との協力で、農園活動を始め、田植えやプール清掃など、たくさんの活動が実施できている。また、恵まれた立地条件を生かし、公民館や保育所と連携した様々な活動も行うことができた。矢立地区の子どもの目指す姿を共有し、さらに矢立の人・もの・こととの関わりを広げていけるよう、今後も地域と連携・協働していきたい。また、地域にお世話になるばかりではなく、児童の元気と笑顔、活力を地域に届ける「矢立笑学校」を目指して取り組んでいきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
10 学校の明確な運営	(12) 経営方針や重点施策の明示	・経営方針、重点施策の明確化	4	
11 開かれた学校	(13) 保護者・地域への情報発信	・学校だより、学級だよりの活用 ・諸活動の案内 ・HP、ブログ、緊急メールシステムの活用	4	
12 PTA、地域、他校との連携	(14) PTA、地域、関係機関との連携	・地域のよさを生かした活動(地域人材の活用) ・PTA活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項 ・他校との交流学習	4	

【10に関するデータ】

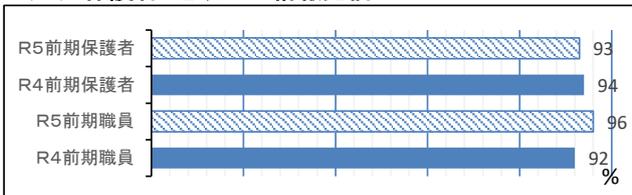
(12) 経営方針や重点施策の明示



保護者の数値が少し上がった。行事等のあいさつでは、学校経営や重点施策に関わる内容を、行事と絡めて児童や保護者に伝えるようにしている。全ての教育活動が学校教育目標、目指す子ども像、目指す授業、合言葉につながっていることも分かりやすく伝えている。学校運営協議会、PTA等での意見を参考にしながら、今後も「開かれた学校」を目指していきたい。

【11に関するデータ】

(13) 保護者・地域への情報発信



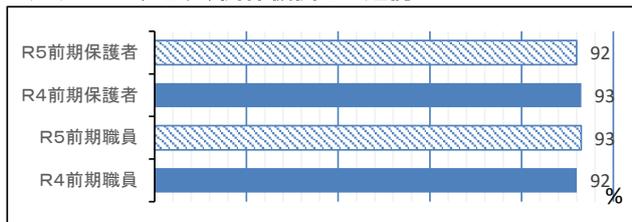
<保護者アンケート記述より>

・ブログで子どもたちの様子がよく分かるので、いつも楽しみにしています。

保護者・教職員とも高い数値である。ブログは、児童が書いてきたものをその内容を聞き取りながら手直しをして載せている。ブログを楽しみにしている方がおり、今後も情報発信のツールとして充実させていきたい。また、学校報や学級通信では、子どもの様子だけでなく、学校・学級運営についてもできるだけ分かりやすく情報発信していきたい。

【12に関するデータ】

(14) PTA、地域、関係機関との連携



<保護者アンケート記述より>

・親子レクにも地域の方々からたくさん協力をいただきとても助かりました。



【地域の方々の協力を得て 左:田植え 右:プール清掃】

地域コーディネーターの協力で、プール清掃や花壇・農園作業、クラブ活動や授業支援など、様々な活動に地域の方々力を借りることができ、児童は地域の方々との交流を楽しみながら意欲的に活動することができている。6月には、花岡小とのリモート授業(算数)を実施し、ICTの活用を図りながら新たな連携を試みている。新型コロナウイルス感染症についてまだまだ油断できないが、対面での活動を通して児童の成長をさらに促していきたい。今後は、矢立の人・もの・ことと関わりを広げていだけでなく、「学校が地域に何が出来るか」という視点で、子どもの活動を考えていきたい。

令和5年度前期 学校評価一覧表

学校教育目標 『ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成』

大館市立矢立小学校

市教育 施策	評価項目	評価指標	実践課題	主な取組	アンケート対象			自己評価 B
					児童	保護者	職員	
○・ 大館 ふる さと 市民 の育 成 (人 間 的 基 礎 と し た 学 校 経 営 基 礎 力 ・ 大 館 市 民 基 礎 力 の 育 成)	I 自主的・自律的な生活 (よりよく生活し安全に過ごそうとする意欲と能力を高めている。)	1 基本的な生活習慣	(1) 明るい挨拶 (2) 規則正しい生活	・挨拶について考える場の設定 ・挨拶運動 ・家庭との連携(早寝、早起き、朝ご飯) ・始まるの時間を意識した学校生活	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
		2 集団生活・集団活動	(3) 自分の役割に責任をもつ態度	・自ら進んで取り組む活動 ・家族の一員としての自覚	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
		3 安全に過ごすための行動	(4) 安全教育の充実	・飛び出し防止の指導 ・交通安全教室 ・判断力を高める避難訓練	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
	II 思いやりの心・たくましい心 (互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。)	4 共感し合う心	(5) 自己有用感をはぐくむ集団づくり (6) いじめ、諸問題発生の防止	・互いを認め合う学級づくり ・縦割り活動の充実 ・学び合いを大切に授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
				・早期発見の体制づくり ・いじめアンケート ・教育相談の充実 ・家庭との連携	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	III 基礎学力 (児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら、学習内容を定着させている。)	6 基本的学習習慣	(8) 基本的学習習慣の確立	・運動会、学習発表会、ふれあい集会などの学校行事 ・自分のよさに気付く場の設定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
				・矢立っ子「学習の約束」 ・ノート指導 ・家庭学習の習慣化 ・各教科における言語活動 ・表現する場の設定 ・ドリル等を活用した反復練習	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	IV 健康と体力 (児童一人一人に運動の機会を多く与え、家庭と連携して健康な生活習慣の形成に努めている。)	7 学力向上	(9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・少人数の特性を生かした基礎・基本の定着 ・教師の確かな見届けと指導、支援 ・根拠を明らかにして説明する場の設定 ・児童主体の授業改善 ・学び合いのスタイルの工夫	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
				・早寝、早起き、朝ご飯、メディア等One Oneカードの活用 ・給食、歯磨き指導	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	V 組織運営及び保護者・地域との連携 (学校の実状に合った経営がなされ、保護者、地域との連携が図られている。)	8 保健指導	(10) 健康的な生活習慣の形成	・業間運動の推進 ・外遊びの奨励 ・徒歩通学の推奨	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
				・経営方針、重点施策の明確化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		10 学校の明確な運営	(12) 経営方針や重点施策の明示	・学校だより、学級だよりの活用 ・HP、ブログ、緊急メールシステムの活用 ・諸活動の案内	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
・地域のよさを生かした活動(地域人材の活用) ・PTA活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項 ・他校との交流学习				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
11 開かれた学校				(13) 保護者・地域への情報発信	・地域を大切に ・保護者・地域への情報発信	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
12 P T A、地域、他校との連携(交流)	(14) P T A、地域、関係機関との連携	・地域を大切に ・保護者・地域への情報発信	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4		
		・地域を大切に ・保護者・地域への情報発信	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			